

トラクターを電気自動車化し、小水力発電による電気を地産地消



発電施設の外観



発電中の水車



電気自動車化したトラクター

<概要>

- 事業実施主体：有限会社やくの農業振興団
(京都府福知山市)
- 発電設備：小水力発電
発電出力 1号機 2.1 kW
2号機 1.65kW
- 建設費：約150万円/機
- 運転開始時期：1号機 平成27年3月
2号機 平成28年3月

<特徴>

- 地域のガソリンスタンドが減少し、燃料の入手に支障をきたしたことから、動力源として再エネ及び電気自動車の導入を検討。
- 農家が導入しやすいよう、メンテナンスが容易な開放式の水車を鉄工所の協力により低価格で製作。
- 電気は全て自家消費。(株)EVジャパンの協力を受け、既存のトラクターを電気自動車化し、地域内のソバ生産に利用。車用の充電器は非常用電源としても利用可能。
- 今後は、建設予定のみつまた加工場へ電気を供給する等、電源の更なる活用を図る。

※農山漁村活性化再生可能エネルギー総合推進事業（H25）において支援